

都留文科のなかなの大学

都留文科大学教授 田中 実

八王子の桜が盛りを過ぎる頃、都留の桜が満開となって咲き匂う。この大学に勤め出して以来、二度桜の盛りを見ることになった。都留でのひそかな喜びは、大学の裏手の細道から十日市場に向かうとき、講義や雑務から解放され、ひとり自然の深さを教えられることである。踏みしめる土のしめやかさ、木々の静けさ、野の花のおとなしさ、水の豊かさ、それら都留の自然の深さを教えられるときであり、そのとき自然はやさしく語りかける。

大学の周りは、随分と変わった。休みが終わって新学期、スクールバスで大学へ向かうとき、毎度新しい店、新しい学生用マンションに気付かされる。十年前、初めてこの街と大学を見たときの風景と比べると、もう隔世の感である。それだけ大学は発展してきたことになる。学生達の服装も変わった。総じて、女子学生が「おしゃれ」になって、街が美しく見える。無論喜ばしいことに違いない。だが今、思いはやや複雑にならざるを得ない。街の中央には国道が走っている。ヨソ者、常習犯はバイパスや駅、あるいは大学周辺の下宿街を車で徘徊し、あるいは待ちぶせている……。このこと一つをとっても、大学生の生活を守るための解決の道は、大学がさらに開かれ、

市民とさらに交流を深め、市民のための大学に向かって充実することではなからうか。大学の役割の一つは、広い意味での市民の文化センターでなければならぬ、と私は思う。

大学には教員などで構成する各種委員会がある。その一つが厚生委員会である。昭和六十二、六十三年度の厚生委員会は、市に開かれた大学へ向けての実践活動であった。それは即ち、学生生活の活動を守ることであり私は信じている。学生の出すゴミ一つをとっても、彼らの生活は市との関係のなかにしかない。地方の街に行くとき若者を見ることが非常に少ない。その点、都留は学生の街である。大学と都留市との間にはもっと接点が必要である。そこでいくつかの人の心をつなぐバイパスを作る必要がある。厚生委員会とは、そのための実践活動であると信じている。

地域の自治会長、学生の代表、市役所の方に大学会議室に来ていただいて、計二回の相談・親睦の会を開いたのは、大変有意義であった。また、市の文化協会の先生方に御足労いただき、学生、市の係の方々と相談も有意義だったと思う。市との協力なしに大学が存立するはずはなく、市もまた大学なしで発展することはない。大学

と市を結ぶ多方面での触れ合いが必要なのである。その最もよい機会には学園祭ではなからうか。今年は休日、祭日の二日間が、開催日のなかに入っている。低調だった学園祭を本来の「お祭り」とするたため昨年やや盛り返して来た以上に、今年はもっと期待できるはずである。都留の良さは富士のすそ野としての豊かな自然が残っているだけではない。伝統芸能や歴史の宝庫が眠っている。

この広報「つる」に大学教員が書かせていただくことにしたのも、また先の一つ一つも、市に開かれた大学こそ都留市のあり方だと信じるからである。

まだ道は遠く、問題は山積している。しかし、秋になると、また紅葉が一段と美しい。都留の紅葉が日本一だということを都留市の方にも、学生にももっと知ってもらいたい。

都留文科大学入学式挙行される



都留文科大学では、四月十日、市民総合体育館において、平成元年度の入学式が行われ、初等教育学科、国文学科、英文学科、社会学科、編入学生合わせて六十一名が決意を新たに入学しました。上田学長が式辞で「これから自分足で立ち、自分の目で見る、自立した人間としての在り方が求められている。」と大学生としての自覚を求めました。これに対して新入生を代表して、小山浩代さん（英文学科）が「真の教育者、また地域社会の担い手を目指し、幅広い人材となるために全国から集まった学友との友情を深め、切磋琢磨していく心構えです。」と固く誓いました。

都留文科大学創立30周年を記念して、校章及びシンボルカラーのデザインを募集します

都留文科大学は、四年制大学として発足後、今年30周年を迎えるにあたり、校章及びシンボルカラーを制定することになりました。

つきましては、次のとおり校章及びシンボルカラーのデザインを募集いたします。

本学のイメージを明瞭に美しく象徴するデザインを期待いたします。

● 応募方法

1. 10cm四方の用紙（なるべくケント紙または画用紙）を使用する。
2. 校章のデザインは鉛筆または黒インク一色で約6～7cm四方の大きさで明瞭に作図する。
3. シンボルカラーのアイディアはポスターカラー「水彩絵具・パステルでも可」を用い平塗りで示す。（一枚に一色のみとする。）
なお、シンボルカラーは校旗の地色に用いるほか、記念事業のポスター、体育のトレーニングウェアなどに使用されることが予想されます。
4. 応募資格は問いません。5月31日までに都留文科大学総務課あて郵送をお願いします。（住所 田原3丁目8番1号）
5. 入選者には記念品を進呈します。

問合先 都留文科大学総務課

☎(43)4341